

日時：令和 3 年 12 月 5 日 (日) 9:30 ~ 16:30
会場：宝塚医療大学 宝塚キャンパス (宝塚市緑ガ丘 1)
大会長：小林 茂 (宝塚医療大学 和歌山医療保健学部)
テーマ：多職種連携によるリハビリテーション医療

プログラム：

- 09:00~09:30 会議システム「Zoom」待機室への接続
09:30~09:40 開会式
09:40~10:40 教育講演 (講演 60 分)
和歌山県立医科大学附属病院 リハビリテーション医学講座 医師 幸田 剣 先生
「多職種連携による急性期リハビリテーションの理論」
10:45~11:15 特別講演 1 (講演 30 分)
和歌山県立医科大学附属病院 リハビリテーション部 理学療法士 木下 利喜生 先生
「急性期リハビリテーションの実際 -COVID-19 患者に対する ICU からのリハビリテーション治療-」
11:20~12:10 特別講演 2 (講演 30 分)
和歌山県立医科大学附属病院 リハビリテーション部 理学療法士 小池 有美 先生
「多職種で行うがんリハビリテーション治療の実際」
12:15~12:35 特別講演 3
姫路獨協大学 村上 仁之 先生
「脳血管障害からの機能回復 -感覚機能の再考-」
12:35~12:55 特別講演 4
フェニックス加古川記念病院 骨粗鬆症センター 村上 雅仁 先生
「多種職種連携による回復期リハビリテーション病院における骨粗鬆症センターの取り組み」
12:55~13:15 特別講演 5
伊丹スーパーフェニックス 村上 直弘 先生
伊丹スーパーフェニックス 網元 麻里 先生 (車椅子バスケットボール日本代表)
「パラアスリートの現状とリハビリテーション」
13:20~14:30 一般発表
14:30~14:40 閉会式

演題募集

- 発表形式：一般口述 (ビデオ配信)、ポスター (画像配信) 各詳細は演題受付時に連絡致します
- 応募要項：
 - 大会事務局の e-mail アドレス (下記) まで抄録原稿を送付してください
 - 抄録原稿は、A4 1 枚 (上限 1,200 字)、MS 明朝 11 ポイントで作成してください。タイトル、所属、氏名は上 5 行以内、本文は 6 行目からとってください
 - 抄録原稿に倫理的配慮に関する記述を含めてください

- 抄録提出時のメールの件名は、「第 121 回理学療法科学学会 第 11 国際エクササイズサイエンス学会 合同学術大会演題」としてください
- 発表者はスライド、ポスターにおいて利益相反（COI）に関する申告をおこなってください

■ 応募締切：令和 3 年 10 月 29 日（金）まで

■ 参加費：無料

■ 大会事務局

宝塚医療大学 保健医療学部理学療法学科 酒井 孝文（サカイ タカフミ）

〒666-0162 兵庫県宝塚市花屋敷緑ガ丘 1 e-mail : t.sakai@tumh.ac.jp